

令和5年12月26日

公益社団法人広島県薬剤師会会長 様

広島県合同輸血療法委員会
委員長 藤井 輝久

令和5年度広島県合同輸血療法研修会の開催について（依頼）

広島県における血液事業の推進につきましては、日頃から格別な御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、今年度、広島県合同輸血療法委員会においては、令和2年度に策定した「災害時等における医療機関間の輸血用血液製剤の譲受・譲渡（融通）に関する指針（以下、「指針」という。）」をより実効性の高いものとするため、現行の指針では、赤血球濃厚液（RBC）の融通を想定しておりますが、災害発生時に一定程度需要のある新鮮凍結血漿（FFP）の融通も可能となるよう、模擬（実地）訓練及びその検証を実施した上で、指針の改訂に関する調査研究を進めています。

この度、今年度の調査研究の結果等を報告し意見交換を図るとともに、他県における血液製剤の適正使用に関する取組を学ぶため、輸血医療関係者を対象とした研修会を、別紙開催要領のとおり開催することといたしました。

つきましては、御多用のところ誠に恐縮ではございますが、この研修会の開催について、会員各位へお知らせくださるようお願い申し上げます。

【参加事前申込】

事前申込期日：令和6年2月2日（金）

申 込 先：Zoom ウェビナーの事前登録

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_s-Y21FU8TG2E5u-fEav9Nw



（事務局：照会先）

広島県薬務課 田中

TEL:082-513-3223 、 FAX:082-211-3006

e-mail:fuyakumu@pref.hiroshima.lg.jp

広島県赤十字血液センター 学術情報・供給課 山口

TEL:082-241-1290 、 FAX:082-504-5476

令和5年度広島県合同輸血療法研修会開催要領

1 目的

広島県合同輸血療法委員会の設置目的である「医療機関における輸血療法委員会相互の情報交換を図り、県内における輸血医療の標準化をめざす」に則り、研修会を通じて、血液製剤の適正使用、安全性に関する知識の向上及び有効利用のより一層の推進を図る。

2 参加対象者

医師、薬剤師、看護師及び臨床検査技師 等

3 日時

令和6年2月3日（土） 15:00～17:00

4 開催方法

Zoom ウェビナーによるオンライン開催

5 演題及び講師（予定）

（敬称略）

| 時間 | 演題及び講師 |
|---------------------|--|
| 15:00 ～ 16:00 | 報告及び意見交換 「災害時等輸血用血液製剤供給体制の実効性の向上」について 広島県合同輸血療法委員会委員長 藤井 輝久 |
| | 休憩（10分） |
| 16:10 ～ 17:00 | 特別講演 「離島への血液製剤搬送～その具体的な方策と課題～（仮）」 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター臨床検査部長 長井 一浩 |

6 主催

広島県合同輸血療法委員会（事務局：広島県、広島県赤十字血液センター）

7 共催（予定）

（一社）日本輸血・細胞治療学会中国四国支部、（一社）広島県医師会
（一社）広島県病院協会、（公社）広島県薬剤師会、（公社）広島県看護協会
（一社）広島県臨床検査技師会、（一社）広島県病院薬剤師会

8 研修単位認定（調整中）

（1）日本輸血・細胞治療学会

※認定制度によっては参加単位が付与されることもありますので各自、日本輸血・細胞治療学会の各認定制度のホームページでご確認ください。

（2）日病薬・広島県病薬生涯研修認定制度

※希望者には後日参加証明書を発行します（所属医療機関等への一括送付）。

※単位認定シール等の交付はありません。